

「第3回旧検見川無線送信所の利活用に関するワークショップ」を開催します ～オンラインまたは会場での参加者を募集～

千葉市では、かつて日本最初の国際放送など無線史上で数多くの業績を残した旧検見川無線送信所の利活用に関する3回目のワークショップを開催しますので、お知らせします。

このたびのワークショップは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンラインを主に、一部会場開催併用で実施しますので、併せてお知らせします。

1 目的

令和2年度に開催した2回のワークショップで聴取した意見を参考とし、本施設の保存・利活用に関連する整備・運営手法等を含め、今後の方針案策定に向けた、より具体的な意見聴取を行うことを目的とする。

2 日時

令和3年10月9日（土）13:00～16:45

3 場所（会場参加の場合）

千葉ポートサイドタワー12階 第1会議室（中央区問屋町1-35）

4 内容

- （1）地域の歴史や特徴などの紹介
- （2）意見交換会（グループごと）
- （3）ワークショップ参加者向けの施設見学会（10月2日（土）及び3日（日））
※感染症の状況次第では、一部内容を変更または中止する可能性があります。

5 参加者の募集等（参加費無料）

- （1）対象者
市内在住、在勤、在学の方
- （2）定員
28名（参加者は公募により選定）
【内訳】
オンライン参加者 21名
会場参加者 7名
- （3）募集期間
令和3年9月1日（水）～17日（金）

（4）申込方法

ア インターネットでの申し込み

以下の応募フォームからお申込みください。

【応募フォーム】<https://forms.gle/cyq37SFaL1MzMVkJ9>

イ 応募用紙での申し込み

応募用紙をホームページからダウンロードするか、本ワークショップ運営事務局である株式会社拓匠開発（309-2011）へ請求のうえ、以下の宛先に郵送、メールまたはFAXで送付してください。

【郵送】〒260-0045 中央区弁天2-20-20

株式会社拓匠開発 旧検見川無線送信所ワークショップ受付係

【メール】kemigawa@takusho.co.jp

【FAX】043-309-2022



第3回ワークショップ
ホームページ

6 取材について

- (1) 取材を希望される方は、10月8日（金）15：00までに文化財課（245-5963）へご連絡ください。
- (2) 会場内では各社腕章等をご着用ください。

<参考>

1 第2回旧検見川無線送信所の利活用に関するワークショップ

- (1) 開催日
令和3年3月7日（日）13：00～16：45
- (2) 参加者
25名（オンライングループ：18名、会場グループ：7名）

2 旧検見川無線送信所について

- (1) 施設概要
 - 開局：1926（大正15）年
 - 構造：鉄筋コンクリート造 地上2階建て塔屋付き（延床面積：1,374.93㎡）
 - 設計者：逓信省営繕課 吉田鉄郎（旧東京中央郵便局などの設計者）
- (2) 主な業績
 - 戦前は植民地通信、航空通信、標準電波の発射などを行い、戦後は警察無線、防衛庁回線、航空気象無線放送などの業務を担った。
 - 短波帯無線通信、無線電話実験など様々な先端技術の実験を行い、無線技術の発展に貢献し、日本初の国際放送の実現など無線通信史上、多くの業績を残した。



竣工時（1926（大正15）年）の様子



現在の様子